

18歳を「大人」 とすべきか？

犯罪被害者の声を聞き、児童福祉・教育関係者とともに
少年法年齢引下げ問題を考える

参加費
無料

事前予約
不要

2019年2月3日（日） 14：45～16：45

会場：横浜市開港記念会館1号室

講師：山口由美子さん（西鉄高速バスジャック事件被害者）
児童相談所職員、高校教諭、法制審議会委員

約3年後から18歳が民法で「成年」とされることが決まりました。しかし、飲酒・喫煙や公営ギャンブルは今までどおり20歳以上にしか認められません。そして今、少年法適用年齢の18歳未満への引下げが議論されています。

この企画では、18歳を「大人」として扱うことの意味や問題点について、少年犯罪（西鉄高速バスジャック事件）被害者の方から体験談をお聞きしながら、県内の児童相談所や高校などで子どもに関わる方々と共に考えていきたいと思っております。

【内容】

第1部 基調報告

第2部 山口由美子さんのお話

第3部 子どもに関わる方々のパネルディスカッション

【講師：山口由美子さんプロフィール】

「西鉄高速バスジャック事件」で犯人の少年から全身を10カ所以上も斬りつけられ、重傷を負ったにもかかわらず、このような少年をつくらないためにと、不登校や引きこもりの子どもや親のためのサークルを設立し、子どもの居場所づくりの活動を仲間と共に続けられている。少年犯罪に対しては安易な「厳罰化」ではなく、事件の背景を考えるべきであると訴え続けている。

【西鉄高速バスジャック事件とは】

2000年5月に発生した当時17歳の少年によるバス乗っ取り事件。佐賀駅バスセンターから出発した福岡・天神行きの西日本鉄道高速バス「わかくす号」の中で、少年は3人の女性客を切りつけ、1人を殺害した。

【会場地図】



【主催】神奈川県弁護士会

【共催】日本弁護士連合会(予定)
関東弁護士会連合会(予定)



【お問い合わせ】

神奈川県弁護士会 刑事少年係
TEL 045-211-7715 (平日9:00~17:00)

横浜市中区日本大通9番地
URL <http://www.kanaben.or.jp/>

